

3 題材の目標及び題材構想

「ハツカダイコンを極めよう」（5時間完了）

(1) 題材の目標

- ① ハツカダイコンの栽培に関心をもち、意欲的に作業を進めることができる。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 繰り返し栽培する中で、栽培方法を工夫することができる。
(生活を工夫し、創造する能力)
- ③ 手入れや観察を通して、ハツカダイコンの育成環境の管理をすることができる。
(生活の技能)
- ④ ハツカダイコンの栽培方法に関する知識を身に付けている。
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	ハツカダイコンの栽培に関心をもち、継続的に作業に取り組むことができる。また、2回目以降の栽培に、それまでの経験を生かして作業を進めようとする。
生活を工夫し、創造する能力・・・【工】	限られた条件の中で、効率よく作業を進めることができる。また、学んだことを生かし、2回目以降も摘芽や土寄せなどの栽培方法を工夫している。
生活の技能・・・【技】	定期的に適切な観察記録を取るとともに、ハツカダイコンの生育に必要な手入れを行うことができる。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	生育過程で行った作業内容や環境条件等、ハツカダイコンの栽培方法に関する知識を身に付けている。

(3) 題材構想

各過程のねらい	時数	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
1 校内の環境を知り、限られた条件の中で栽培計画を立てる。	1	<p>1 ハツカダイコンの栽培計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハツカダイコンの特徴を知る。 ・栽培に適した土の性質を知る。 ・どのような手入れ方法があるか調べる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-right: 10px;">・水やり <li style="margin-right: 10px;">・除草 <li style="margin-right: 10px;">・土寄せ <li style="margin-right: 10px;">・摘芽 <li style="margin-right: 10px;">・追肥 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に限られた場所、低予算で、比較的簡単に栽培できる作物を検討しておく。 ・あらかじめ、校内で栽培可能な場所、日当たりや水はけ等を確認しておく。 ・栽培期間が短いことを生かし、一年間で複数回栽培させる。 ・家庭で実践可能な題材としてハツカダイコンを選択し、簡単に準備できる用具としてポットを使うことを説明する。 <p>☆ハツカダイコンの栽培方法に関心をもち、栽培計画を立てることができたか。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)【関】【工】</p>

<p>2 種まきを行い、発芽の様子を知る。</p>	<p>1</p>	<p>2 発芽に必要なものを考え、種まきをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>・水 ・適度な温度</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな種まきの方法を知る。 ・種まきをする上での注意事項を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・じかまき、すじまき、点まき等、まき方を考えさせ、選ばせる。 ・1回目は、学校で準備した土を用いる。2回目以降は、どのような土が適しているかを選ばせる。 <p>☆正しいまき方に従って、種まきを適切に行うことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(授業の様子)【技】</p>
<p>3 観察記録を取り、ハツカダイコンが生長する様子を知り、必要な手入れを行う。</p>	<p>2</p>	<p>3 定期的に必要な手入れを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子葉が重ならないよう、間引きを行う。 ・随時、水やり、除草を行い、雑草を抑えて土寄せを行う。 ・水やりは低い位置から行う。 ・土寄せは葉に土が付かないようにする。 ・観察記録を取り、ハツカダイコンの生長の変化や様子に気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業日以外でも世話をしたり、記録を取ったりしやすいように育成場所を考慮する。 <p>☆水やり、除草、土寄せ等、適切な作業を行うことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(活動の様子・ポットの点検)【工】【技】</p> <p>☆定期的に観察記録を取り、生長の変化や様子に気付き、手入れをすることができたか。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)【関】【技】</p>
<p>4 収穫・観察の後、二回目の栽培計画を工夫する。</p>	<p>1</p>	<p>4 収穫したハツカダイコンを観察し、栽培計画の改良を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよいハツカダイコンを作るには、どのようにすればよいのかを考える。 ・種をまく時期や手入れ方法、土を変えることで違いが生じるかなどの視点を基に考える。 ・次の栽培計画を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポットがなければペットボトルで代用するなどして、家庭でも簡単に栽培できることを説明する。 <p>☆今までの作業を振り返り、よりよいハツカダイコンを作るために、栽培計画を改良することができたか。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)【関】【工】【知】</p> <p>☆さまざまな栽培方法についての知識を身に付けている。</p> <p style="text-align: right;">(テスト)【知】</p>

※1回目のハツカダイコン栽培は、5時間完了として構想した(第1次案)。2回目以降の栽培は、上記のそれぞれの活動を20分程度の帯活動として行うことを想定している(第2次案)。